

つ

ゆ

~~千葉~~ 茨城

雨、雨、そして今日も雨。池に浮かぶ水蓮の葉に、若いカップルの相合傘に降る水無月の雨。水郷・潮来では雨のシーズンを迎え、あやめ祭が始まりました。『潮来出島のまこもの中にあやめ咲くとはしおらしや。』と民謡にも唄われたあやめがまこもがくれに咲いて、一時の旅情をなくさめてくれます。雨の中、女船頭の説明を聞きながらの十二橋巡りは水郷情緒の豊かな舟遊び。水の都水郷・潮来は『つゆ』の訪れでまた賑わいを取りもどしたようです。

激戦！ 東京地方区

— 参議院選挙 —

激戦が伝えられる東京地方区。自民党公認の原文兵衛候補は、「日本を宇宙船日本号にたとえるならばどうなるか。公害をたればなしにすれば破滅してしまう。環境公害によほど真剣にとりくまないといけない」と公害対策を打ち出す。今回、自民党公認からはずされた江藤武彦候補（無所属）は「公害などが解消されないのは、企業のばく大な政治献金があるからだ。このような政界を浄化するために無所属で立候補しました。」と自民党の体質改革を打ち出している。今回も政界の良心をかがね理想選挙にとりくむ市川房枝候補（無所属）は、爆弾発言を行なった青島幸男参議の応援を受け、「財界と自民党、佐藤総理はゆ着している。これでは公害だってなくなりはない。清けつな選挙で出したい人を国会へ」と訴える。物価の高騰、財政の悪化でスローガンをかかげる社会党公認木村禧八郎候補は、「インフレ、公害、軍事化への道は絶対ストップさせねばならない。」と党をあげての背水の陣。地方選で大きく力をつけた共産党。野坂参三候補は、「民主憲法、平和憲法が今、改悪されようとしている。第4次防衛計画では5兆8千億円という金が軍事費に計上されようとしている。」と護憲を訴える。政教分離後の初の国会議員選挙を迎える公明党黒柳明候補は、「大企業優先の政策、国民不在の政治を行なう保守政権が、明治・大正・昭和の今日まで70年という長きにわたって悪政を敷いてきた。」とヤングパワーの必要性を訴えている。テレビ司会者の木島則夫（民社党）候補は、「今こそ、政治の玄人より政治の素人が、必要な時である。手づくりの政治を」と対話集会など国民の生の声を着実に拾いあげようとしている。立候補者は16人。激戦、東京地方区は全国の注目のマトになっている。